

地元がイデオがお好きか!

# 東海道

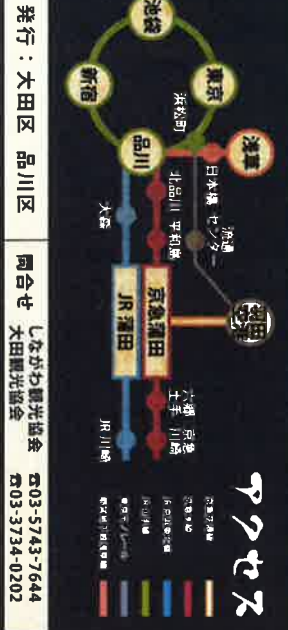
## 品川宿へ川崎宿

エリヤガイド



江戸の杜人が  
行きたった  
東海道

今からおよそ400年前、  
徳川家康が整備した五街道  
のひとつである東海道。  
江戸・日本橋から京都・  
三善大橋まで153の宿場  
が沿われ、東海道五十三次  
と呼ばれていました。その最  
終の宿場を合称し東海道五十  
七次と呼ぶ説があります。



**1 新八ツ山橋**  
品川宿の始まり。人気を誇る日本映画「ゴジラ」。太平洋上で生まれたゴジラが陸地に第一歩を印したのが八ツ山陸橋。

**2 品川蒲船だまり**  
かつて、海苔の主要産地でもあった品川浦。当時の面影を残す船だまりと品川駅周辺のビル群、今と昔が混在している風景が楽しめる。

**3 聖蹟公園・品川宿本陣跡**  
江戸時代、大名が宿泊する本陣が置かれた。また明治天皇が京都から東京へ移る際宿泊したため聖蹟と名がつく。

**4 品川神社**  
徳川家とゆかりの深い神社。6月の大祭は「北の天王祭」と呼ばれる。境内には大神輿を展示する宝物殿、富士塚、板垣退助の墓などがある。

**5 品川宿交流館**  
品川宿の総合案内所。1階無料休憩所、2階品川宿の歴史と文化を知る展示室。  
【開館時間】10～16時  
【休館日】月曜日  
品川区北品川2-28-19  
03-3472-4772

**6 東海寺**  
徳川家光が禅僧・沢庵を迎えて開いた寺。たくわえ漬け=たくあんが考案された地でもある。

**7 桂原神社**  
南品川宿の鎮守様。5～6月の大祭は「南の天王祭」と呼ばれる。また、天王洲沖の海に入り神輿をかつぐ海中渡御は「かっぱ祭り」と呼ばれ有名。

**8 品川寺**  
品川区最古の寺。江戸六地蔵が道行く人の交通安全を見守っている。ジュネーブ市との友好の洋行の鐘、樹齢600年の大イチョウも有名。

**9 品川歴史館**  
常設展示では品川宿を中心に品川の歴史が学べる。庭園には水琴窟があり、音色を楽しむこともできる。  
【開館時間】9～17時(入館は16時30分まで)  
【休館日】月曜日、祝日(日曜日と重なった場合は開館)、祝日が月曜日の場合、その翌日も休館、年末年始、展示替期間  
【観覧料】一般100円/小・中学生50円  
\*品川区立の小・中学生、70歳以上の方、障害のある方は無料\*20名以上の団体は2割引\*特別展については別途  
品川区大井6-11-1 03-3777-4060

**10 浜川橋(なみだ橋)**  
立会川にかかる浜川橋は、別名なみだ橋。江戸時代の処刑場・鈴ヶ森の近くにあり、罪人とその家族が、涙ながらに別れた場所。

**11 鈴ヶ森刑場跡**  
江戸時代の処刑場。丸橋忠弥、平井権八、八百屋お七など、歌舞伎にも登場する人物がこの地で処刑された。





### 13 美原通り

品川南と川崎南の中間に位置したこのあたりは、旅人の休憩のために設けられた「間の宿(あいのしゆく)」としてにぎわい、夏わらわらなどが土産物として売られていた。近年、商店街では看板や提灯、浮世絵の描かれたシャッターなどを整備し江戸の街並みを演出している。



### 14 大森と海苔 / 大森 海苔のふるさと館

江戸時代に海苔の養殖がおこなわれ、浅瀬の広がる大森周辺は大きな産地として発展した。この地で作られた海苔は「御膳海苔」として將軍家などにも納められたという。このエリアには、今も海苔問屋が数多くあり、「大森海苔のふるさと館」では展示や体験などが楽しめる。

【開館時間】9～17時(6月～8月は19時まで)入館無料  
 【休館日】第3月曜日(第3月曜日が祝日の場合は翌日休館)  
 年末年始(12月29日から1月3日まで)  
 大田区平和の森公園2-2 ☎03-5471-0333



### 16 羽田道

美原(三原)通りの内川橋から羽田(井天橋)に至る約五キロの道。羽田の魚介類や野菜を江戸に運んだり、羽田弁財天等に参詣する人々がこの道を利用した。また歌舞伎に出てくる「駿河屋」という旅籠があったことから「するがや通り」という名が残っている。



### 18 蒲田梅屋敷

江戸時代に和歌堂という道中寄居を興う山久三郎がこの地に梅の名木を植え、東海道を往来する旅人を相手に茶屋を開き「蒲田梅屋敷」としてにぎわった。広重の浮世絵にも描かれ、現在は菟渡蒲田梅屋敷公園と呼ばれている。



### 19 六郷神社

深田義興、義家が武蔵長久を祈願し勝利を収めて創建。後に頼朝も勝利を祈願した。境内にある石造の狛犬は江戸時代に作られたもの。1月の子ども流鏝馬、6月の子ども獅子舞とともに東京都の無形文化財となっている。



### 20 北野神社と六郷の渡し跡

別名「逐馬止め天神」。8代將軍吉宗の逐馬を止めたとして伝えられている。家康により作られた橋が流された翌日、大正14年まで渡し船が使われていた。



### 12 善井神社

延喜式内の古社。東海道往来の旅人も飲んだとされる「善井の井戸」。心正しければ湧水、悪心あれば塩水という言い伝えがある。



### 15 海難供養塔

海難供養塔としては、東京湾中屈指の規模。台石の銘文には、一般の江戸町民や武士など約300名に及ぶ名が刻まれている。



### 15 海難供養塔

海難供養塔としては、東京湾中屈指の規模。台石の銘文には、一般の江戸町民や武士など約300名に及ぶ名が刻まれている。

### 18 蒲田梅屋敷



### 19 六郷神社



### 20 北野神社と六郷の渡し跡



### 21 東海道かわさき宿交遊館

東海道川崎宿の歴史・文化などに関する展示のほか、お休み処や交流スペースなどがある。  
 【開館時間】9～17時 入館無料  
 【休館日】毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日休館)  
 年末年始(12月29日から1月3日まで)  
 川崎市川崎区本町1-8-4

### 21 東海道かわさき宿交遊館

東海道川崎宿の歴史・文化などに関する展示のほか、お休み処や交流スペースなどがある。  
 【開館時間】9～17時 入館無料  
 【休館日】毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日休館)  
 年末年始(12月29日から1月3日まで)  
 川崎市川崎区本町1-8-4

### 20 北野神社と六郷の渡し跡

別名「逐馬止め天神」。8代將軍吉宗の逐馬を止めたとして伝えられている。家康により作られた橋が流された翌日、大正14年まで渡し船が使われていた。

【東海道】は第一京浜に…  
 品川区・大田区にある東海道は、昭和2年の国鉄分割によって第一京浜国道と名を変えたが品川から鶴ヶ島駅間までと美原通り(六郷神社橋)にある一里に江戸時代から伝わる旧道として当時の道幅のまま遺跡を残している。



### 17 厳正寺

毎年7月14日に、長雨が止むことを願い獅子舞が奉納される「水止舞(みずどめのまい)」が行われる。約700年前から現在も続いている。(東京都無形民俗文化財)

【古街道】  
 東海道は、元和9(1623)年に大森から六郷まで延び現在のような直線的な街道に整備された。現在の六郷神社の太鼓橋(六郷神社の年貢奉納)から南に延びる道は、頼朝生で地元の者が古街道と呼んでいた。この道は、幕府の参勤交代が行われた「東海道分限通路(1639年)」に命命に依りおのの木のある道として認められ、道中から舟の渡しにいたる道(旧道通り)の途中で分かれ六郷神社への参道のようにも見える道に該当する。ただし、古街道と旧東海道の関係は不明である。

